

初夏・夏のしょくぶつ



ブタナ

兵庫県立有馬富士公園で5月中旬～7月までに開花が見られる植物を紹介しています。
(一部に植栽された植物を含んでいます)

文中の「見られる場所」の番号は、公園地図(トップページからダウンロードできます)に示された番号におおよそ対応しています。また「日付」は2023年の撮影日です。各植物の開花時期は年によって変動しますので、日付の日に見られないことがあります。



シロツメクサ(クローバー)

見られる場所：出会いの広場・築山広場

道端や野原に生えるマメ科の草本。茎は地面をはうように伸びて広がる。江戸時代にオランダからのガラス器輸送時の詰め物として使われ、白い花の詰め草の名がついた。5月12日



ニワゼキショウ

見られる場所：出会いの広場・1・39

芝生や道端に生えるアヤメ科の草本。花は小さく直径1.5cmくらいで、1日でしぼむ。花色は白と赤紫があり、どちらも濃い紫色の筋が入っていて、中心部は黄色。北アメリカ原産。5月12日



エゴノキ

見られる場所：築山広場・40・39・36

山野や丘陵地の雑木林に生えるエゴノキ科の落葉高木。枝先にぶら下がるように真っ白な花が一斉に咲き、美しい。花の後、卵形で灰白色の実がぶら下がり、これもまたかわいい。5月18日



カタバミ

見られる場所：出会いの広場・1・38・40

道端や空き地などに生えるカタバミ科の草本。葉はハート形が3枚集まった形。楕円形の葉が3枚のクローバーとは異なる。葉や茎にシュウ酸を含み、10円玉を磨くとピカピカに。 5月18日



ヤマボウシ

見られる場所：出会いの広場・築山広場・ガーデン階段・39

山野の林内に生えるミズキ科の落葉高木。葉の展開後、上向きに花が咲く。白色の花弁状のものは総苞片という特殊な葉で、中心に淡黄緑色の小さな花が多数球状に集まってつく。 5月23日



スイカズラ (忍冬)

見られる場所：築山広場・2

道端、林縁などに生えるスイカズラ科のつる植物。葉の付け根から甘い香りのある花が2個ずつ咲く。花は最初白色でやがて黄色になる。花冠は上4枚と下1枚に分かれる。 5月23日



タンナサワフタギ

見られる場所：築山広場・2

山地の林内、林縁に生えるハイノキ科の落葉低木。枝先に、花冠から多数の雄しべが突き出た真っ白な花をたくさんつける。葉の縁にはとがった鋸歯がある。秋に藍黒色の実がなる。5月23日



ソヨゴ

見られる場所：築山広場・林の生態園・2・26

山地、丘陵地の林内に生えるモチノキ科の常緑小高木。雌雄異株で、雄花は短い柄の先に多数集まって咲き、雌花は長い柄の先に1〜3個が咲く。葉のふちは少し波打つ。 5月26日



ネジキ

見られる場所：林の生態園・2・5

低山から山地の尾根や斜面にはえるツツジ科の落葉小高木。花は白い壺型で、前年枝から伸びる花茎に一直列に並んで下向きに咲く。名は幹がねじれることから。有毒植物。 6月7日



ヒメジョオン

見られる場所：林の生態園・6

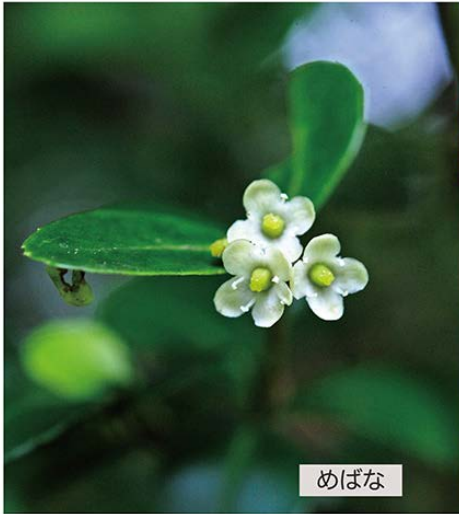
道端や草地にはえるキク科の草本。北アメリカ原産で、明治期には広く野生化した。ハルジオンとよく似るが、つぼみが下向きに垂れさがらず、葉が茎を抱かないなどで区別できる。 6月7日



ノイバラ

見られる場所：林の生態園・21・26

山野の藪や河川敷によく生えるバラ科の落葉低木。枝に鋭いトゲがあり、他の木にもたれるように立ち上がり、枝先に白い花が円錐状に並んで咲く。バラの園芸品の原種の一つ。 6月9日



イヌツゲ

見られる場所：築山広場・林の生態園・5・6・27

山地の岩場や林縁にはえるモチノキ科の常緑低木。本年枝の葉の脇に黄白色の小さな花をつける。雌雄異株。実は秋に黒熟する。名にツゲがつくが、ツゲとは科が異なる別植物。 6月9日



ドクダミ

見られる場所：ガーデン階段

半日陰の空き地、道端、庭などに群生するドクダミ科の草本。特有の臭気がある。4枚の白い花びら状のものは苞で、その上に雄しべ・雌しべのみからなる花が集まって穂のようなになる。 6月13日



クリ

見られる場所：林の生態園・水辺の生態園

日当たりのよい丘陵地に生えるブナ科の落葉高木。花は、枝先にてる紐のような穂状花序の上部に雄花が、下部に雌花がつく。葉はクヌギによく似て、縁に鋭く突き出た鋸歯がならぶ。 6月20日



ナツツバキ

見られる場所：花の道・47

山奥の谷間などに生えるツバキ科の落葉高木。シャラノキとも呼ばれるが、仏教の聖樹である沙羅双樹はフタバガキ科の別種。公園内には三田市指定天然記念物の群落がある。植栽。 6月20日



ネムノキ

見られる場所：9・水辺の生態園・あそびの王国

日当たりのよい山野や河岸などに生えるマメ科の落葉高木。花のピンク色のふわふわは、大部分が雄しべ。葉は夕方になると閉じることから、この名がついた。公園や寺社などに植えられる。 7月5日



ネジバナ

見られる場所：花の道・42

日当たりのよい芝生や湿草に生えるラン科の草本。ピンク色の花が花径の周りにらせん状に並んで咲く。らせんは右巻きと左巻きの両方ある。花のかわいらしさから愛好家が多い。 7月8日



ヘクソカズラ

見られる場所：1・40・あそびの王国

日当たりのよい山野・藪・道端などに生え、生垣やフェンスなどに絡みつくとアカネ科のつる性草本。葉の付け根から、内面が紅色で白い筒状の花が咲く。名は、葉を揉むとくさい臭いがあることによる。 7月23日



ツククサ

キッピー山の生き物図鑑 初夏・夏のしょくぶつ

制作・撮影 高橋 晃

発行 三田市有馬富士自然学習センター 2024年4月30日

〒669-1313 三田市福島 1091-2